

DK **ダイコク電機株式会社**

第48期第2四半期 株主通信

DK
VOICE
Vol. **18**

2020年4月1日 → 2020年9月30日

ダイコク電機株式会社（証券コード 6430）

- 01** ご挨拶・業績概要
- 02** 業績ハイライト
- 03** 事業概要・セグメント情報
- 05** トピックス
- 06** 会社及び株式の状況
株主優待制度の廃止と
繰越ポイントの行使について
- 裏表紙**



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期の業績は、誠に遺憾ながら前年同期実績を下回る結果となりました。引き続き厳しい市場環境が予想されますが、通期連結業績予想の達成に向けて取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 大上 誠一郎

経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるパチンコ業界は、9月度におけるパチンコホールの稼動状況におきましては、前年同月比約80%(当社「DK-SIS」データ比較)まで回復しましたが、緊急事態宣言解除後より継続しておりました回復基調も踊り場に差し掛かった感があり、ファン(遊技客)の回復傾向は鈍化しております。

パチンコホールにおける新規則遊技機の置換状況は、旧規則遊技機の撤去期限が一部延長されたこともあり、パチンコホール経営企業におきましては、新規則遊技機への置換に慎重な姿勢が継続しております。しかしながら、2020年1月に施行された「技術上の規格解釈基準」の改正、それに伴う日本遊技機工業組合の内規制定によって新しい遊技性(「遊タイム」等)を有した遊技機が徐々に市場に導入され、高稼動のパチンコ遊技機も出始めていることから、今後の遊技機入替需要の活性化が期待されております。

このような市場環境のもと、情報システム事業におきましては、昨年6月にリリースしたAIホールコンピュータ「X(カイ)」の提案を行い、既存ホールコンピュータ「CⅡ」からのシステムアップによる入替を推進いたしました。7月には今年で17年目を迎えた「DK-SIS白書」2020年版(2019年データ)発刊の記者発表会を実施いたしました。また、9月に

は業界初となるオンライン形式の「MIRAI GATE 2020 Web展示会&セミナー」を開催し、例年の2倍以上となるパチンコホール経営企業の皆さまにご参加いただきました。セミナーでは「遊タイム」搭載パチンコ遊技機の最適なデータ表示や、ファンに安心感を提供する新型コロナウイルス感染症対策など、業績向上につながる改善策を提案いたしました。

制御システム事業におきましては、パチスロ遊技機の受託開発や販売製品の事業領域を拡大する活動を推進するとともに、表示ユニットの低コスト化に向けた技術及び部品の調査研究に努めました。当事業の顧客である遊技機メーカーでは、休業や在宅勤務等の新型コロナウイルス感染症への対策は徐々に緩和され、「遊タイム」等の新しい遊技性を有したパチンコ遊技機の開発が本格化しました。この動きに合わせ、当事業におきましても販売スケジュールへの影響を最小限に抑えるべく、リソースの再分配や工程の見直し等に積極的に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高110億60百万円(前年同期比40.7%減)、営業損失2億24百万円(前年同期は営業利益13億2百万円)、経常損失18百万円(前年同期は経常利益14億21百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失48百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益9億12百万円)となりました。

財政状態

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、売掛金などの営業債権が大幅に減少しました。また、設備投資などの計画を見直し、減価償却費の計上が大きかったことなどによる有形固定資産及び無形固定資産の減少により、前連結会計年度末に比べ24億16百万円減少の402億85百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間末の負債は、仕入計画や開発計画の見直

しなどによる仕入債務や未払金の減少により、前連結会計年度末に比べ19億34百万円減少の103億62百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間末の純資産は、期末配当金の支払いなどにより、前連結会計年度末に比べ4億82百万円減少の299億23百万円となりました。自己資本比率は74.3%(前連結会計年度末比3.1ポイント上昇)となりました。

通期の業績予想

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は期初予想の通りに推移しましたが、オンライン展示会&セミナーの開催やモバイル活用、その他経費の削減に努めた結果、利益は期初予想よりも大幅に改善いたしました。

当社が携わるパチンコ業界では、9月度のパチンコホール稼動状況では前年同月比約80%まで回復しましたが、回復基調も踊り場に差し掛かった感があり、ファンの回復傾向は鈍化しております。第3四半期以降も新型コロナウイルス感染症拡大の懸念が依然として続いており、現時

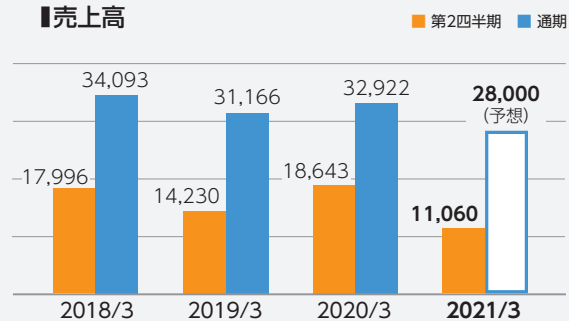
点で終息時期の見通しは立っておらず、今後の当社グループの業績に与える影響は不透明な面があります。

これらの状況により、2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、2020年5月21日に発表いたしました数値から修正は行っておりません。

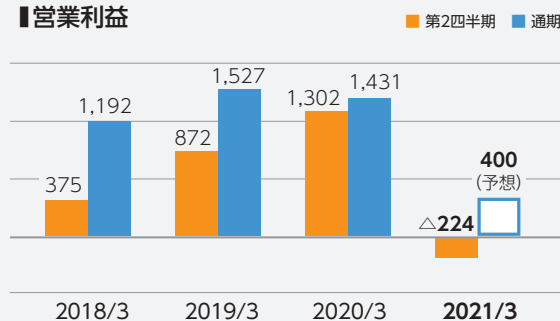
●通期予想及び第2四半期連結累計期間における業績進捗率				(単位:百万円)
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益
第2四半期連結累計期間	11,060	△224	△18	△48
通期予想	28,000	400	500	300
進捗率(%)	39.5	—	—	—

業績ハイライト

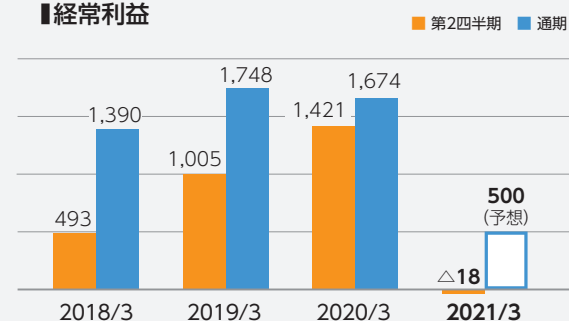
売上高



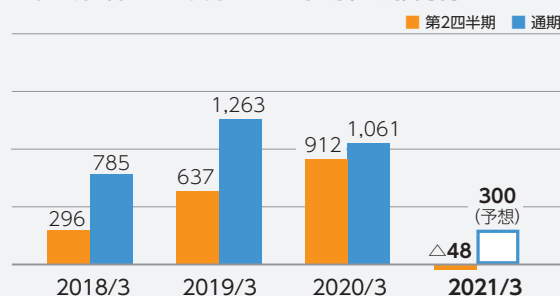
営業利益



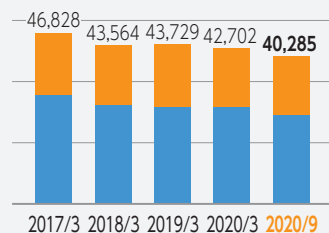
経常利益



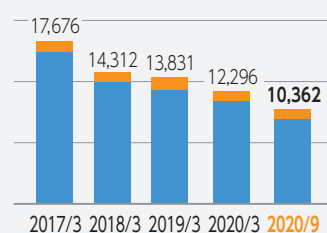
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



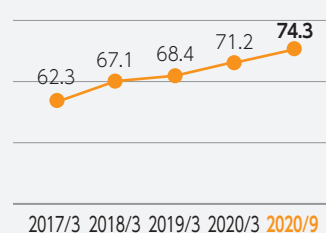
流動資産 固定資産



流動負債 固定負債



自己資本比率 (%)

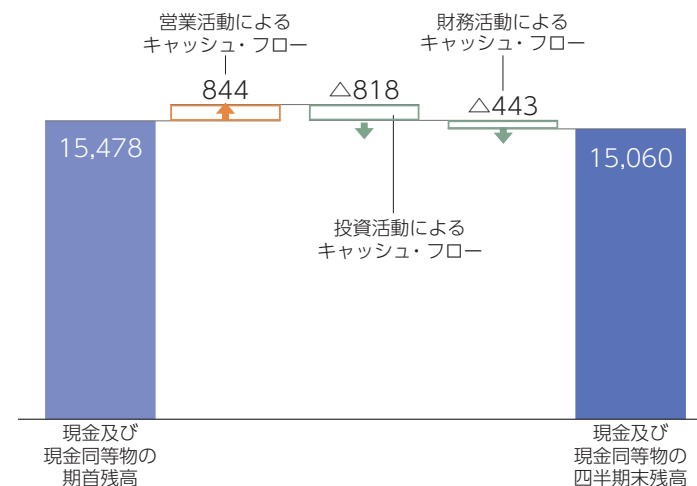


(単位：百万円、単位未満は切捨て)

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	当第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	前第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	前期 2019年4月1日から 2020年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	844	3,834	5,006
投資活動による キャッシュ・フロー	△818	△949	△1,688
財務活動による キャッシュ・フロー	△443	△443	△591
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△417	2,441	2,726
現金及び現金同等物の 期首残高	15,478	12,751	12,751
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	15,060	15,193	15,478

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要



情報システム事業

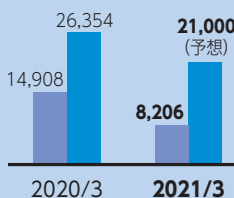
パチンコホール向けに、店舗運営に必要な管理機器「ホールコンピュータ」をはじめとする情報システム機器を提供するなど、企業経営・店舗運営を支援しています。



(単位: 百万円、単位未満は切捨て)

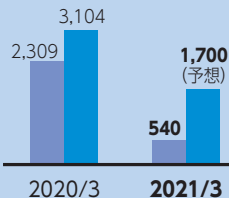
売上高

■ 第2四半期 ■ 通期



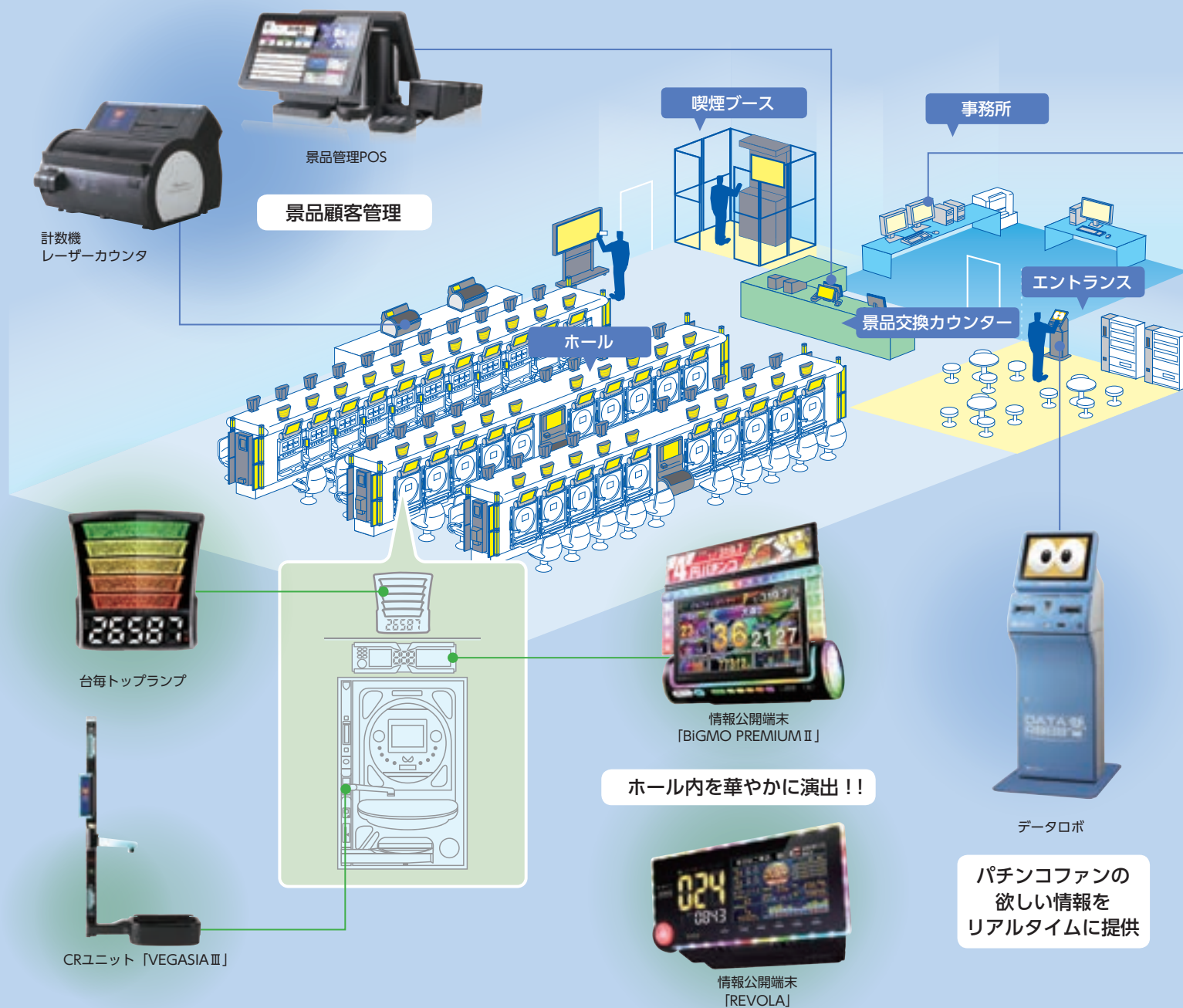
セグメント利益

■ 第2四半期 ■ 通期



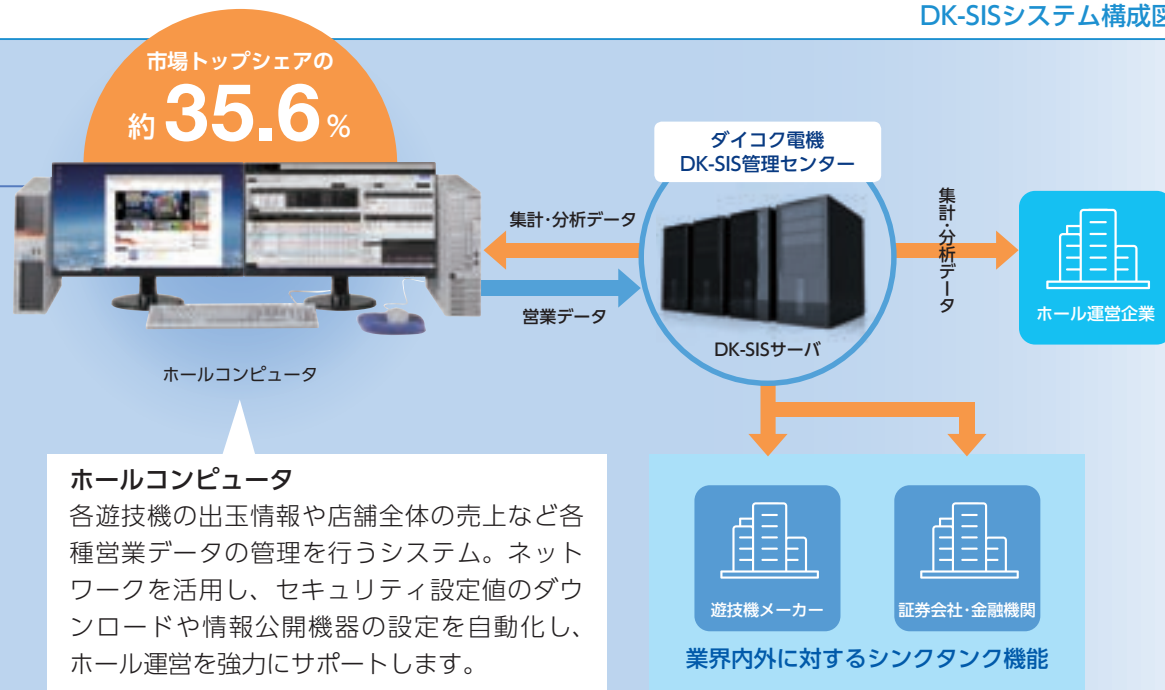
当期の営業概況

コロナ禍のなか、長期間となった休業要請や深刻化するファン離れなど、パチンコホール経営企業を取り巻く環境は一変し、設備投資意欲は極端に低下しました。また、旧規則遊技機の撤去期限の一部が延長されたことにより、設備投資のタイミングが先延ばしとなるなど、極めて厳しい市場環境となりました。このような市場環境の下、当事業ではオンライン形式の展示会&セミナーの開催や、モバイル活用、その他経費の削減に努めたことから、セグメント利益は期初予想を大幅に上回ることができました。



を提供し続ける市場創造型の企業です。

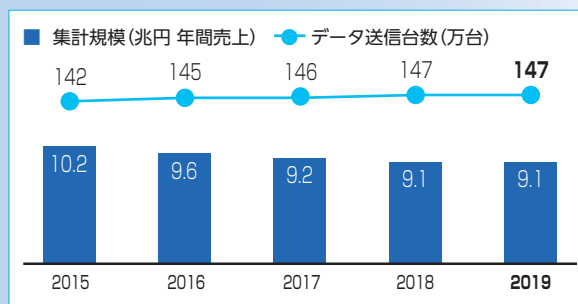
DK-SISシステム構成図



会員制情報提供サービス「DK-SIS」

「DK-SIS」は、1990年に店舗経営を支援する会員制システムとして誕生しました。パチンコホールの基幹システムであるホールコンピュータとダイコク電機とを専用回線で結び、日々の営業データを収集し、分析、加工後、パチンコホールに各種データを提供する顧客支援システムです。遊技機データ量は約147万台分、金額換算すると9.1兆円分のデータをベースに、遊技機動向や営業データなど付加価値の高い情報を提供。ホール経営支援から業界の発展にも貢献しています。

この大規模データを活用し、証券会社や金融機関など業界外にもパチンコ業界の指標を配信。リアルタイムで客観的な数値情報を公開することで、業界に対する信頼を構築しています。

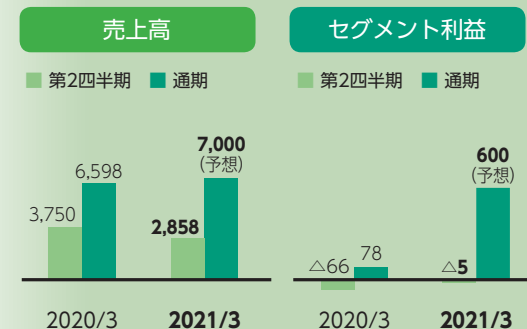


制御システム事業

パチンコ・パチスロ遊技機メーカーに対し、遊技機の表示や制御ユニットのハードウェア及びソフトウェアの開発からセールスプロモーションまで手がけています。



(単位: 百万円、単位未満は切捨て)



当期の営業概況

パチンコホールで新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために休業や時短営業が行われた影響により、各遊技機メーカーにおきましては新作タイトルの販売は延期され、市場全体のパチンコ遊技機販売台数は大きく減少しました。当事業におきましても表示ユニット、制御ユニット、部品販売ともに前年同期を下回りました。

DK



遊技機市場の変化に対応した企画開発



映像制作・プログラミング



品質管理
(デバッグ・検査)



表示用ユニット、
制御用ユニットの提供

遊技機メーカー

NOW MIRAIGATE2020 Web展示会&セミナー

2020年9月1日から15日まで「MIRAIGATE2020 Web展示会&セミナー」を開催しました。当社の展示会は例年、ホテル等の会場でお客さまと対面形式にて実施してきましたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、パチンコ業界では初の試みとなる『完全オンライン』形式での開催としました。前例の無いWeb展示会ではありましたが、結果としては昨年の2倍近くとなる約5,500名の業界関係者の皆さまにご参加いただきました。

展示会では、遊技機の規則改正によって新たに登場した「新解釈基準機」を最大限に活用できる情報公開機器のデータ表示機能やAIホールコンピュータ「X(カイ)」の新機能の提案を主軸として、接触機会の軽減や「清掃・消毒済」表示などwithコロナ時代のホール運営に対応した製品・サービス、ますます深刻化している人手不足にフォーカスをあてた参考出品製品など、当社が提供する製品・サービスによるパチンコ業界の『ニューノーマル』のかたちを動画で紹介しました。お客さまにはご提案の内容は勿論のこと、時勢に合わせていち早くWeb開催に舵を切ったことも含めて、高い評価をいただくことができました。設備への投資意欲減退が続いている市場環境に対して、効果的な揺り起こしの機会になりました。

今後も先進的な取組みにも積極果敢に挑戦するとともに、お客さまに求められる製品・サービスの開発に一層注力し、当社の価値をより一層高められるよう努めていきますので、引き続きご支援のほど、よろしくお願いします。



NOW 「DK-SIS白書2020年版 (2019年データ)」 発刊

この度当社は創刊から数えて17冊目となる「DK-SIS白書2020年版 (2019年データ)」を発刊しました。本書は、市場に設置されている遊技機の3分の1を超える約147万台もの膨大な営業データを日々集計・分析し、1年分の情報を集約したもので、売上規模だけでなく粗利規模まで網羅した業界唯一のデータブックとなっています。

今回の白書では例年のコンテンツに加えて、2020年5月に発表された経過措置延長にもいち早く対応し、旧規則遊技機の設置期限の一覧を追加するなど、過去を振り返るだけでなく現在、そして未来の営業を計画する上でも必携の一冊となっています。

DK-SIS並びに本書は、常に化する市場に対応する情報収集ツールとして、ホール経営企業の皆さまだけでなく、金融機関等の業界外の企業の皆さまにもご利用いただいています。なお、バックナンバーを当社WEBサイトに掲載していますので、ぜひご覧ください。



NOW DK-SISセミナー New Normal ～DKビッグデータが導く未来への道筋～

パチンコ業界は旧規則遊技機から新規則遊技機への移行期間の真只中です。もともとは2021年1月31日が旧規則遊技機の設置期限でしたが、コロナ禍により2021年11月30日まで設置期限が延長されました。遊技機の入替えには多額の費用が必要となるため、この設置期限延長はコロナ禍により業績が下落したホールにとってプラスに働くと考えています。

遊技人口の減少、コロナ禍による業績下落、新規則遊技機への入替えなど2020年から2021年は、パチンコ業界にとって大きな転換期となります。だからこそ当社が保有するビッグデータを活用した、業績向上につながる内容としました。

最初に業界動向として、コロナ禍による業績への影響を解説しました。2020年4月、5月は前年の約50%まで下落した業績が、6月以降は回復基調となり、9月では約80%まで回復しました。しかしながら、毎年10月、11月の業績が最も低迷するため、更なる業績回復の契機になる提案をお伝えしました。

パチンコ遊技機に関しては、新しい遊技性である「遊タイム(※)」を搭載した遊技機が登場しました。これまでにはない画期的な機能であり、パチンコの救世主として期待を集めていますが、「遊タイム」を搭載した機種が登場を知らないファンもいるため、当社の情報公開端末でファンの認知度を上げる方策や、効率的な活用によりパチンコの業績を向上させる手法をご紹介しました。

パチスロ遊技機に関しては、旧規則遊技機の撤去に伴い、撤去機種をメインに遊技していたファンが、離れることなく楽しめる機種を提供することが重要となります。導入する機種の選択によってはファン離れを防げず、業績が大きく下落してしまう可能性が予想されることから、各店舗の状況に適した機種の探し方や推奨機種を提案しました。

今回のセミナーはコロナ禍のため初めてWeb開催としましたが、非常に多くの皆さまにご参加いただき、大きな期待を感じました。引き続き業界の発展につながるセミナーを開催していきます。

※ 通常時に規定のゲーム数まで大当たりが発生しなかった場合、玉が減りにくい状態となる機能

会社及び株式の状況

(2020年9月30日現在)

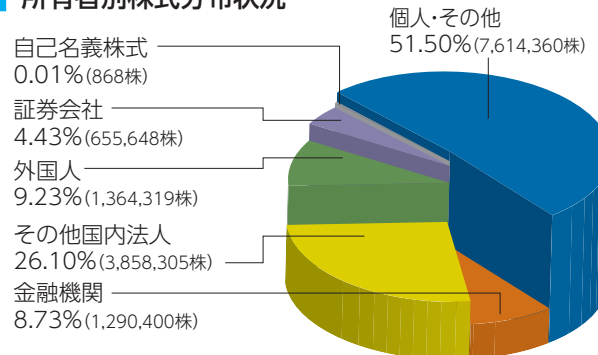
会社概要

商号 ダイコク電機株式会社
DAIKOKU DENKI CO., LTD.
創業 1965年 9月
設立 1973年 7月
資本金 6億7千4百万円
本社 名古屋市市中区那古野一丁目43番5号
従業員数 (単独) 427名 (連結) 638名
事業内容 パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売
パチンコ遊技機用ユニット・パチスロ遊技機の開発・製造・販売
決算期 3月31日
事業所 3事業所、4支店、13営業所
連結子会社 元気株式会社、DAXEL株式会社、
ダイコク産業株式会社、アロフト株式会社

株式の状況

発行可能株式総数 66,747,000 株
発行済株式総数 14,783,900 株
株主数 11,203 名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
栢森 健	1,652,200	11.17
栢森 雅勝	1,014,650	6.86
栢森 美智子	926,000	6.26
栢森 寿恵	813,100	5.50
栢森 和代	773,000	5.22
公益財団法人栢森情報科学振興財団	750,000	5.07
栢森 綾音	443,500	3.00
栢森 新治	443,450	2.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	339,400	2.29
ダイコク電機従業員持株会	213,782	1.44

役員

代表取締役会長	栢 森 雅 勝
代表取締役社長	大 上 誠 一郎
代表取締役専務	栢 森 健
常務取締役	大 成 俊 文
取締役	栢 森 啓
取締役	藤 巻 靖 裕
取締役	松 原 真 那 武
取締役	岡 本 篤 憲
取締役	足 立 芳 寛
取締役	武 田 邦 彦
常勤監査役	吉 川 幸 治
監査役	村 橋 泰 志
監査役	田 島 和 憲
監査役	知 念 良 博

(注) 1. 取締役 足立芳寛氏、武田邦彦氏は社外取締役であります。

2. 監査役 村橋泰志氏、田島和憲氏、知念良博氏は社外監査役であります。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日
定時株主総会 6月下旬
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告いたします。

一単元の株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685
名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063

電話照会先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
本店及び全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告によります。ただし、やむを得ない
事由によって電子公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

公告のホームページアドレス

<https://www.daikoku.co.jp>

株主優待制度の廃止と繰越ポイントの行使について

当社は、安定的な配当還元に加え、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に保有していただける株主さまの増加をはかることを目的として、株主優待制度を実施してまいりました。

しかしながら、当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により先行き不透明な事業環境の継続が想定されることから、慎重に検討を重ねました結果、利益還元については配当重視とさせていただきたく、誠に遺憾ながら株主優待制度の廃止を決定いたしました。

株主優待制度廃止の内容

2020年9月末日時点の当社株主名簿に記載または記録された1単位(100株)以上ご所有の株主さまのうち、繰越ポイントの行使のみを対象とする株主優待制度の実施をもちまして廃止いたします。**廃止により、新規に付与される優待ポイントはございません。**

繰越ポイント行使対象となる株主さま

2020年9月末日時点において当社株式を1単位(100株)以上保有し、当社株主名簿に記載または記録され、2018年11月1日時点及び2019年11月1日時点において付与された優待ポイントのうち、未使用の優待ポイント(繰越ポイント)を保有されている株主さま。

交換受付期間

2020年11月2日(月)～2021年2月26日(金)

ポイントの失効について

今回の繰越ポイントの交換をもちまして株主優待制度は廃止となります。交換受付期間に**交換されずに残ったポイントにつきましては、全て失効いたします。**

2021年2月26日(金)までの交換受付期間内に、お申込みくださいますようお願いいたします。

当社は、企業価値の増大をはかりながら、株主の皆さまに利益還元をはかることを経営の最重要課題と考え、事業環境や収益の状況、配当性向等を総合的に勘案し、安定配当を行うことを基本方針としており、今後も安定的な配当に努めていきたいと考えております。

株主の皆さまにおかれましては、何卒ご理解賜りますとともに、今後とも、変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

お申込みについて

株主優待最終年度となります繰越ポイントのみの交換方法につきましては、11月初旬に対象の株主さまにお届けしております「株主優待のご案内」に記載しておりますので、内容をご確認いただきましてお申込みくださいますようお願い申し上げます。繰越ポイントをお持ちの株主さまで「株主優待のご案内」がお手元に届いていない場合につきましては、お手数ですがページ右下の**ダイコク電機株主優待ヘルプデスク**までご連絡をお願いいたします。

商品交換は株主優待専用サイト、またはお電話のどちらからでもお申込みできます。

株主優待専用サイトで



お電話で



お問い合わせ先

ダイコク電機株主優待ヘルプデスク

0120-501-336

受付時間 9:00～17:00

(土・日・祝日・2020年12月28日～2021年1月3日を除く)